

九重昆虫記-昆虫の心を探る- 第6巻

宮田彬, 2011.

<目次>

第6巻 序文 3

第6部 チョウと似たガ-シャクガ上科の世界

- IV-1. 「九重昆虫記 第6巻」に登場するシャクガ上科の昆虫たち 34
- IV-2. シャクガ上科の幼虫たち 36
- IV-3. トガリバガ科、カギバガ科およびシャクガ科の成虫と交尾 38
- IV-4. 背中で翅を立てて止まることが出来るようになると何が起こったか? 42
- IV-5. トガリバガ科の昆虫 44
- IV-6. オオバトガリバとホソトガリバ 46
- IV-7. 造巢性を持つマユミトガリバとホソボシトガリバ 50
- IV-8. サカハチトガリバとカワムラトガリバ 52
- IV-9. モントガリバの幼虫 54
- IV-10. アヤトガリバの幼虫 58
- IV-11. アヤトガリバとオオアヤトガリバの成虫の違い 60
- IV-12. ヒメウスベニトガリバの幼虫 62
- IV-13. オオカギバガ科とカギバガ科の昆虫 66
- IV-14. 警告色と集合性-オオカギバガの幼虫 68
- IV-15. チョウはなぜ背中で翅を立てて静止するのか 70
- IV-16. クロスジカギバとアシベニカギバの終齢幼虫の違い 74
- IV-17. アシベニカギバガとクロスジカギバ 78
- IV-18. クロスジカギバの幼虫の色彩変異 82
- IV-19. オキナワカギバの生活史 84
- IV-20. アカウラカギバの生活史 86
- IV-21. マエキカギバとヤマトカギバ 90
- IV-22. ウコンカギバの幼虫と蛹 94
- IV-23. ウスギヌカギバ幼虫は真の幼虫越冬か? 96
- IV-24. 鳥の糞に擬態するギンモンカギバ幼虫 98
- IV-25. 鳥の糞に擬態するウスイロカギバ幼虫 102
- IV-26. 鳥糞に擬態しているスカシバギバ幼虫 106
- IV-27. 造巢性を持つヒトツメカギバ幼虫 110
- IV-28. フタテンシロカギバの幼虫と巣について 112
- IV-29. シャクガ科の昆虫-アオシャク亜科とヒメシャク亜科 114
- IV-30. シャクトリムシとそれに似た幼虫 118
- IV-31. コブシの花芽に似たオオアヤシャクの幼虫 120

- IV-32. ブナ科の新芽に擬態する大型アオシヤク 2 種 122
- IV-33. ヒメカギバアオシヤク-窓付きの繭を作る奇妙な習性 126
- IV-34. シロフアオシヤクと大ガ類の繭造り 130
- IV-35. キバラヒメアオシヤク幼虫と多食性の進化 132
- IV-36. 小枝に擬態したキマエアオシヤク幼虫 134
- IV-37. ハラアカヒメアオシヤクの幼虫 138
- IV-38. 巣を作るシヤクガの話 140
- IV-39. ミノを作るシヤクガ幼虫の発見とその飼育 142
- IV-40. ヨツテンアオシヤクの幼虫と造巢性 144
- IV-41. コシロスジアオシヤクとマエキヒメシヤクの幼虫 146
- IV-42. コベニスジヒメシヤクの幼虫 150
- IV-43. ナミシヤク亜科の昆虫 154
- IV-44. 枯れ枝に化けたマルモンシロナミシヤクの幼虫 156
- IV-45. マルモンシロナミシヤクの交尾飛翔 158
- IV-46. トンボエダシヤク類の交尾飛翔 162
- IV-47. セキナミシヤク、オオハガタナミシヤク、ビロードナミシヤクの幼虫 166
- IV-48. キガシラオオナミシヤクとエゾヤエナミシヤクの幼虫 168
- IV-49. トベラクロスジオオナミシヤクは集合性を持つか? 170
- IV-50. エダシヤク亜科の昆虫 1-幼虫の色彩・斑紋と形態 174
- IV-51. エダシヤク亜科の昆虫 2-多食性文化の華開く 176
- IV-52. エダシヤク亜科の昆虫 3-我が世の春を謳歌するエダシヤクたち 178
- IV-53. マサキの垣根に発生するユウマダラエダシヤク 180
- IV-54. ヒメマダラエダシヤクとクロマダラエダシヤクの幼虫 182
- IV-55. 警告色を持つマダラエダシヤク属幼虫 186
- IV-56. キシタエダシヤクの幼虫 188
- IV-57. 警告色を持つシヤクガ科幼虫-トンボエダシヤク類 190
- IV-58. 警告色を持つ幼虫-ウメエダシヤクとクロフオオシロエダシヤク 194
- IV-59. 集合性を持つシヤクガ科幼虫は存在するか? 198
- IV-60. 警告色を持つ幼虫-キオビエダシヤクとオオノコメエダシヤク 200
- IV-61. ヒメノコメエダシヤクの幼虫 202
- IV-62. マムシに似るヨツメエダシヤクとオオゴマダラエダシヤクの幼虫 206
- IV-63. 九酔溪桂茶屋のソメイヨシノから落下したエダシヤク幼虫 2 種 210
- IV-64. ヤマトエダシヤクとナミスジシロエダシヤクの幼虫 214
- IV-65. ウスアオエダシヤクとフタテンオエダシヤクの幼虫 216
- IV-66. マエキトビエダシヤクとマエキオエダシヤクの幼虫 218
- IV-67. アキグミにつくウスキオエダシヤクとウスネズミエダシヤク幼虫 220

- IV-68. ウスグロナミエダシャク的生活史 222
- IV-69. ウスバミスジエダシャクの幼虫 226
- IV-70. ハミスジエダシャクとチャノウモンエダシャクの幼虫 230
- IV-71. オオトビスジエダシャク的生活史 234
- IV-72. ウスジロエダシャクの幼虫 236
- IV-73. ヨモギエダシャク-幼虫も成虫もシャクガ科中の最も普通な種 238
- IV-74. ヒゲマダラエダシャクとハラゲチビエダシャクの幼虫 242
- IV-75. トビネオオエダシャクとリンゴツノエダシャクの幼虫 246
- IV-76. 枯れ枝に最も似ているウスイロオオエダシャク幼虫 248
- IV-77. トビモンオオエダシャクとハイイロオオエダシャクの幼虫 250
- IV-78. ソトシロモンエダシャク幼虫について 254
- IV-79. フユシャクガ類とシロフフユエダシャクの造巢性 258
- IV-80. 巣を造るシャクガ幼虫は存在するか? 260
- IV-81. 集団で越冬用の巣を造るシャクガ科幼虫 262
- IV-82. チャバネフユエダシャクとシロトゲエダシャクの幼虫 264
- IV-83. ハバチ幼虫と紛らわしいニトベエダシャク中齢幼虫 266
- IV-84. 年1回春に出現するアトジロエダシャク 270
- IV-85. 早春に出現するハスオビエダシャク成虫とその幼虫 274
- IV-86. ニッコウエダシャクとカバエダシャクの幼虫 278
- IV-87. 鳥糞に擬態するオカモトトゲエダシャクの幼虫 282
- IV-88. ヒロバトガリエダシャクの幼虫 286
- IV-89. 年1回早春に出現するホソバトガリエダシャク 288
- IV-90. ミミモンエダシャクとセプトエダシャクの幼虫 290
- IV-91. キリバエダシャク幼虫とノイバラに擬態したキエダシャク幼虫 294
- IV-92. 三度目の正直-キリバエダシャクの飼育 298
- IV-93. ゴマフキエダシャク幼虫と謎のエダシャク幼虫 300
- IV-94. エグリヅマエダシャク的生活史1 302
- IV-95. エグリヅマエダシャク的生活史2 306
- IV-96. タブノキの葉を食べるエグリエダシャクの幼虫 308
- IV-97. モミジツマキリエダシャクとモンシロツマキリエダシャクの幼虫 310
- IV-98. ムラサキエダシャクの幼虫と造巢性の名残 314
- IV-99. サラサエダシャクとウスクモエダシャクの幼虫 316
- IV-100. キマダラツバメエダシャクとミヤマツバメエダシャクの幼虫 318
- IV-101. 爪楊枝のように細いつばメエダシャク属2種の幼虫 322
- IV-102. アゲハモドキガ科、フタオガ科およびイカリモンガ科の昆虫 324
- IV-103. ジャコウアゲハに擬態したアゲハモドキ 326

- IV-104. マルバネフタオの幼虫 330
- IV-105. 鳥糞に擬態しているミナミクロホシフタオの幼虫 334
- IV-106. 警告色をもつクロオビシロフタオの幼虫 338
- IV-107. イカリモンガとベニイカリモンガ 340
- 第1部 追加「九重昆虫記」(第4巻より続く)
- I-289. 自然観察者の肉眼と心眼 344
- I-290. スジコガネ類の奇妙な行動 346
- I-291. クリの実に寄生するクリシギゾウ 350
- I-292. クリシギゾウムシの生活史 354
- I-293. イタドリのハバチ-ツノキクロハバチ幼虫 356
- I-294. ココノエノリウツギハバチの幼虫 358
- I-295. 自分で「ゆりかご」を作るツヤヒラタハバチ幼虫 362
- I-296. ハバチの集合性と独居性について 366
- I-297. コガタスズメバチの営巣 368
- I-298. コガタスズメバチの巣の構造 370
- I-299. 謎のドロバチの巣 374
- I-300. 謎のドロバチの巣の作り方 376
- I-301. 子育てするオオフタオビドロバチの羽化率 378
- I-302. エゾアオカメムシ物語 382
- I-303. オオキンカメムシとシナアブラキリ 384
- I-304. キマダラカメムシの生活史と交尾 386
- I-305. アワフキムシ類の生活史 390
- I-306. アワフキムシのわからないこと 392
- I-307. クワヤマハネナガウンカとムネアカアワフキ 394
- I-308. 謎の綿虫の大発生 398
- I-309. 大型昆虫になる条件 400
- I-310. ムカデに刺された話 402
- I-311. ムカデの油と会ったことのない祖父源次郎の話 406
- I-312. 俵藤太の百足胎児 408
- I-313. ムカデとその仲間たち 410
- I-314. 熱帯に多いヤスデの仲間 412
- I-315. お馬鹿さんのブナ 414
- I-316. 大塚勲氏と河村忠氏の思い出 418
- I-317. 大塚勲氏の採集した昆虫の記録 420
- I-318. ロッキー一家のその後 422
- I-319. 2008年晩秋から2009年春のネコ物語 426

- I-320. ノンノンとランランの子育て 428
 - I-321. ロッキーしばらく姿を消す 430
 - I-322. ランランの3度目の出産と子育て 432
 - I-323. 帰ってきたロッキーと重傷を負ったランラン 434
 - I-324. ネコ世界における文化の世代間伝達とロッキー 438
 - I-325. ランランの3度目の出産 440
 - I-326. 地蔵原の哺乳類 442
- 索引 444